

〒320-8501 宇都宮市鳩田1-1-20 TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160 栃木県のホームページ http://www.pref.tochigi.jp/

栃木県の人口 (11月1日現在) 2,015,368人(前月比+494人、前年同月比+2,964人) ◎男1,000,665人・◎女1,014,703人 ◎世帯数707,816世帯 栃木県毎月人口推計速報

知事に就任して

栃木県知事 福田富一

栃木県に元気を、真に県民が主役となる県政を！

このたびの知事選挙におきまして、県政を担当させていただくことになりました。県民の皆さんから寄せられた声にお応えし、知事としての責任を果たしていくため、これからの四年間に全力を挙げて取り組んでまいります。

我が国は今、少子高齢化をはじめとする社会の劇的な変化の中で、三位一体の改革や市町村合併など、国と地方のあり方、県と市町村のあり方が問い直されています。また私たちの栃木県では、足利銀行一時国有化後の経済活性化が何にも増して重要な課題となっております。

私は、栃木県のリーダーとしてこのような時代の潮流を的確に捉え、スピーディーかつ果敢に政策を実行し、県民の皆さん誰もが夢を持ち安心して暮らせる”とちぎ”、分権型社会の主役である市町村が真に輝く”とちぎ”を築き上げて行きたいと考えております。

そのため、県民の皆さんとの対話、市町村をはじめとする様々な機関との協調を基本として県政をすすめます。そして、市町村が輝きを放つふるさと”キラリ”、人々が笑顔で暮らせる”にこ里”、この”キラリ””とちぎ”の輪を県内に広め、あらゆる地域から栃木に元気を吹き込んでまいります。

県民の皆さんとともに
夢を育て安心して暮らせる
ふるさと”とちぎ”づくりを
すすめます



12月9日、贈られた花束を手に初登壇する福田富一知事

目次

- 2面特集 交通安全
 - 年末の交通安全 県民総ぐるみ運動
- 3面特集 地震対策
 - 今すぐ実践！地震対策 5つのポイント
- 4面情報 栃木県からのお知らせ
 - 文化情報・募集・催しほか
- 花歳時記(マツ)

年末の交通安全 時間と心にゆとりを持って



誰にでも起こりうる交通事故。決して他人事ではありません。特に師走と呼ばれる十二月は、気ぜわしさや道路の混雑などにより、交通事故の多発が心配されます。県では、十二月十一日から三十一日まで「年末の交通安全県民総ぐるみ運動」を実施し、交通事故の防止を呼びかけています。交通事故を防ぐのは一人ひとりの心がけです。思いやりとゆとり合いに努めましょう。

高齢者の交通事故が増加しています

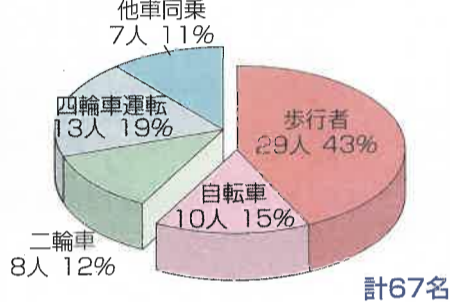
十一月末までに栃木県内で交通事故で亡くなった方は百七十五名。そのうちの約四割を高齢者が占めています。高齢者の死亡事故の約六割は歩行中や自転車乗用中に起きています。誰でも年齢を重ね

るにつれて、視力や聴力、一瞬の判断力など身体機能が衰えてきます。無理せずに行動しましょう。高齢運転者は長年の運転歴を過信せず、自分の運動能力を正しく理解し、時間と心に



「交通安全はみんなの願い！」
見望台幼稚園(鹿沼市)の園児が、交通安全をドライバーに呼びかけています

高齢者の交通死亡事故発生状況
(平成16年1月～11月)



ゆとりを持つことが大切です。また運転者は、高齢者を見かけた時には、安全な速度に減速するなど思いやりのある運転を心がけましょう。

歩行者の安全は 自分を目立たせることから

交通事故は交通量が増加する朝と夕方の通学・通勤時間帯に多発しています。日の入りの早い今の時期はあっといいう間に暗くなり、運転者から歩行者の存在が見えにくくなるので注意が必要です。夕暮れ時や夜間は闇に紛れないような目立つ明るい服装を心がけ、夜光反射材などを上手に利用しましょう。

反射材は100m以上離れていても光を受けて反射し、運転者に存在を知らせます



真岡市で行われた「シルバーナイトスクール」の様子

運転者はヘッドライトを早めに点灯し、歩行者に車が近づいていることを知らせましょう。なお、交通安全の意識を高めていただくため、各地で交通安全教室が開かれています。お近くの警察署や市町村役場にお気軽にお問い合わせください。



栃木県交通指導員連合会
会長 安藤幹夫さん
(宇都宮市)

交通安全は大人が手本を

私たち交通指導員は県内に約730名おり、毎朝小学生の通学路で子どもたちが安全に通学できるよう活動しています。指導員が立っている場所では死亡事故がゼロということが、私たちの誇りです。ドライバーから怒鳴られるなど大変なこともあります。子どもたちの元気なあいさつと笑顔が私たちの励みとなります。交通事故をなくすためには、子どもの道路への飛び出しや高校生の自転車マナーの悪さなどさまざまな問題もありますが、なにより大人が良い手本を示すことが大切です。子どもだけでなく家庭や地域で、大人も子どもと一緒に交通安全を学んで欲しいと思います。

どうしよう?

交通事故のさまざまな悩み事。困った時にはお電話を!

交通事故の賠償問題や責任問題、示談のすすめ方、保険の請求などの相談をお受けしています。また、各地域に出張しての巡回相談も行っていますので、お問い合わせください

- 中央県民センター ☎028-623-2188
栃木会館2階(宇都宮市)
- 県南県民センター ☎0282-24-5665
下都賀庁舎内(栃木市)
- 県北県民センター ☎0287-23-1555
那須庁舎内(大田原市)

※各県民センターでは、さまざまな県民相談(県政についてのご意見・ご要望・困りごと)にも応じています。お気軽にご相談ください



減らない飲酒運転 飲酒事故の責任をとれますか?

平成十四年六月から飲酒運転に対する罰則が非常に重くなりましたが、いまだに飲酒運転が後を絶ちません。「ちょっとくらいなら大丈夫」「お酒をすすめられて断れない」といった飲酒運転に対する寛容さが依然としてみられます。忘年会などでお酒を飲む機

会が多い時期です。飲酒運転は危険性が高い反社会的な行為です。「飲んだら乗るな」「乗るなら飲むな」を必ず守りましょう。また、車を運転する人に飲酒をすすめることも処罰の対象となります。家庭・職場・地域から飲酒運転を追放しましょう。

運転中は、携帯電話の画面を見ただけで違反

何かと便利な携帯電話。しかし、運転中の通話やメールのやりとりなどは、非常に危険な行為です。運転中の携帯電話の使用は、脇見の時間が長くなる、ブレーキの反応が鈍くなる、安全確認がおろそかになるなど、さまざまな悪影響があります。

道路交通法の改正により、十一月一日から運転中に携帯電話の通話をしたり、メールの画面を見たりすると罰せられます。どうしても必要な場合は、車を安全な場所に駐車してから使用しましょう。

運転中の携帯電話は危険です

- 違反点数 1点
- 反則金
- 大型車 7,000円
- 普通車・二輪車 6,000円
- 原動機付自転車 5,000円



◇問合せ 県交通対策課

TEL 0281-62312183

今すぐ実践！わが家の地震対策を再確認

被害を最小限に抑える5つのポイント

◆問合せ
県消防防災課 TEL028-623-2136



防災知識を身につけよう



★地域の防災訓練や講習会に参加する
★「栃木県防災館」で防災に関する正しい知識を身につける
●10名以上で利用される場合は事前に申込みを●入場無料●上河内町大字中里248 ☎028-674-4843

防災館では、地震、煙、大風、大雨などが体験できます

栃木県防災館 防災解説専門員の声

災害に備えるには、日ごろから防災意識を持つことが大切です。災害が起こったときに家族が再会できる避難場所や避難の方法について、話し合っておきましょう。



(猪股 学さん)



家庭で防災会議を開こう

★家族が慌てずに行動できるよう、日ごろから次のようなことを話し合い、それぞれの役割分担を決める

●家の中でどこが一番安全か●子どもや高齢者は誰が避難させるか●避難場所、避難経路はどこにあるか●避難するとき、誰が何をもち出すか、非常持出袋はどこに置くか●昼の場合、夜の場合の家族の役割分担をはっきり決めておく

★地震時の連絡方法について確認する

●避難時に集合する場所の確認●安否情報を取り次ぎしてもらう親戚や知人など(遠方に住んでいる方)を決めておく●NTT「災害用伝言ダイヤル171」の活用を家族で話し合っておく

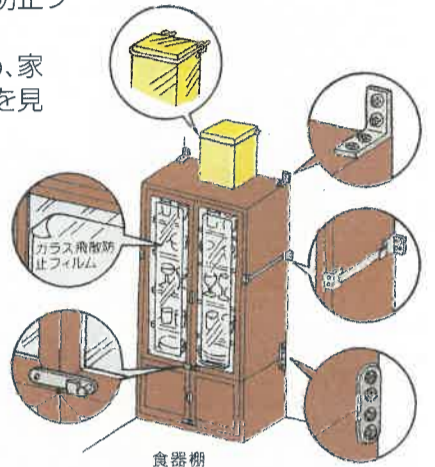


家具の転倒を防ごう

★タンスや本棚などは倒れないように建物本体に固定する。食器棚の扉に開放防止金具を取り付け、ガラスに飛散防止フィルムをはる

★安全のため、家具の置き場所を見直す

●寝るところから十分離れた位置に家具を配置する●外への脱出口をふさがないように、出入口付近に家具を配置しない



食器棚



非常持出品・備蓄品を準備しよう

非常持出品

緊急避難の時に持って逃げられるように、いつでも持ち出せる場所に置く。水、ビスケット、ラジオ、懐中電灯、電池などを用意する



非常備蓄品

災害後の生活を支えるため、断水などに備え、水、食料などを最低3日分用意する。入れ替えや補充も年に一度は必ず行う



※非常持出品などのお問い合わせは
栃木県消防設備保安協会へ ☎028-625-4611



地震！まずは落ち着いて身の安全を

★地震が発生したら、まず、布団などで頭を保護して、丈夫な机やテーブルの下に身を隠す

★玄関などの扉をあけて、非常脱出口を確保する。慌てて外に飛び出さない

★使用中のガス器具、ストーブなどは慌てず冷静に火を止める。出火した場合、すばやく消火をする



新潟県中越地震

10月23日夕方に新潟県を襲った地震は、避難者10万人、住宅損壊9万棟を超える大規模災害となりました。特に、山間部での被害が大きく、壊滅的な状態に陥った市町村もありました。

県では、被災された方の応急支援のため、給水、救援物資の搬送、医療、避難所での活動要員の派遣を行いました。さらに、被災地の復旧支援のため、建物の危険度判定や公共施設などの被害状況調査を行う技術職員などを派遣し、支援活動を行っています。

また、被災地でのボランティア活動には、栃木県からも多くの皆さんが駆けつけ、支援活動に積極的に取り組まれました。

12月30日まで「新潟県中越地震災害義援金」を受け付けています

中央共同募金会

- 義援金受入口座名義 「社会福祉法人新潟県共同募金会」
- 郵便振替口座(窓口での振替手数料は無料) 00630-5-14477
- 日本赤十字社栃木県支部
- 足利銀行と栃木銀行の県内各支店にある専用の振込依頼書をご利用ください
- 振込依頼書の義援金名の欄に「新潟地震」と記入。手数料無料



被災地の建物の危険度を判定するようす

とちぎの環境を守るために

～「栃木県生活環境の保全等に関する条例」が公布されました～

県では、「栃木県生活環境の保全等に関する条例」を平成17年4月1日(一部10月1日)から施行することとしています。これは、現行の「栃木県公害防止条例」を全面改正したもので、企業などを対象とした公害防止のほか、県民の皆さんが日常生活で環境を守るために責任として果たすべき義務などを定めたものです。その概要をお知らせします。

新たに加わったもの 県・県民・企業、それぞれが責任として果たすべき義務を定めました

- 地球温暖化の防止
 - 省エネルギーの推進、新エネルギーの利用など、温室効果ガス(二酸化炭素、メタンなど)の排出を抑制する
 - 温室効果ガス排出抑制等のための計画を作成する
- フロン類の排出の抑制
 - フロン類の回収・破壊に関する知識の普及や情報の提供に努める
 - 冷蔵庫などに使われたフロン類の大気中への放出を防止する
- 自動車排出ガスの抑制
 - 自動車排出ガス抑制のための知識を普及する、低公害車を利用する
 - 低公害車購入に努める、自動車利用を控える、停車中のエンジンを停止する
- 生活排水対策の推進
 - 水質汚濁を防止するための知識を普及する
 - 調理くずや廃食用油を適正に処理する、キャンプなどの野外活動で水を汚さない
- 日常生活等の騒音等の防止
 - 日常生活や事業活動での騒音や振動を防止する
- 環境物品等の調達
 - リサイクル製品などの購入や情報提供に努める
- 工場等に関する規制等
 - 特定有害物質管理基準の遵守義務、悪臭の防止のための措置、化学物質の適正管理のための措置など

一人ひとりが地球に優しい行動を

栃木県環境審議会
会長 吉田 紘さん
(宇都宮大学教授)



栃木県環境審議会では、さまざまな分野の専門家が集まって平成14年から約2年かけて話し合いを行い、条例をつくる上での基本的な考え方を県に示しました。

近年の環境問題は、日常生活から生まれる大気汚染や水質汚濁などのほか、地球温暖化やオゾン層の破壊といった地球規模の問題が生じています。こうした問題を解決するためには、法律や行政の規制を明確に示すことが何より大切ですが、県民一人ひとりが環境に関する意識を高めていくことも必要です。そこで、この条例には事業者だけでなく、県民一人ひとりが守るべき責務が定められています。

この条例の施行をきっかけに、冷暖房の温度設定を弱めにしたり、車の利用を控えたり、県民みんなで地球に優しい行動を心がけて欲しいですね。

説明会開催のお知らせ

♿身障者用駐車場 ♿身障者用トイレ
♿オストメイト対応トイレ

日時	会 場	定 員	時 間
2/10(木)	真岡市青年女性会館	130	午後2時～ 3時30分
2/14(月)	栃木商工会議所	250	
2/16(水)	鹿沼市民情報センター	150	(受付は 午後1時30分～)
2/18(金)	足利市民プラザ勤労福祉センター	200	
2/22(火)	那須野が原ハーモニーホール(大田原市)	150	
2/24(木)	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	300	

※希望会場・住所・氏名(事業所名)・電話番号を記入し、開催日の1週間前までにハガキ・FAX・Eメールで申込みを(先着順)

◎申込み・問合せ 県環境政策課 ☎028-623-3185 FAX 028-623-3182
E kankyo-seisaku@pref.tochigi.jp



アカマツ(マツ科)

門松に使用されるマツはクロマツですが、本県のマツはアカマツがほとんど。雌松(めまつ)と呼ばれ、日本の原風景としてこのマツ山から数々の文化が生まれました。

ウォッチングポイント

黒磯から那須に向かう那須街道は、よく整備されており美しい林です。南河内町の祇園原も見応えがあります。



なかがわ水遊園の催し

●特別展「Fish in the Story」～物語の中の魚たち～
●12/14(火)～1/23(日)
●絵本の読み聞かせなど

クリスマスナイトビュー

●12/23(木) 午後5時～9時
●水中サンタとゲーム、ハンドベルコンサートなど
●たこあげ大会
●1/9(日) 午後1時～3時
●「たこ」のあがり方やデザインを競います
●事前に電話で申込みを
●同園 ☎0287-98-3055

日光自然博物館の催し

●親子で雪の運動会!
●1/15(土) 午前10時～午後2時
●定員 30名
●申込締切 1/6(木)
●はじめてのクロスカントリースキー
●①1/22(土)②1/29(土)
●③1/30(日) 午前10時～午後2時30分
●定員 各回15名
●申込締切 各回2週間前



●スノーシューで雪の森へ!
●2/5(土) 午前10時～午後2時30分
●定員 20名
●申込締切 1/22(土)
●同館 ☎0288-55-0880

文化情報 子ども総合科学館

●プラネタリウム特別番組「星と音楽のひととき」12/18(土)・19(日) 19時～21時30分
●「キッズのり」クリスマスソングおなじみのクリスマスソングを冬の星座を見ながら楽しみましょう!(CDによる演奏です)
●児童文化公演「大道芸がいっぱい」1/10(月)午後1時～3時 海外公演など多方面で活躍中のパフォーマーによる公演です。お楽しみください!

◇年末年始の休館日 12/27～1/4

文化情報 県立美術館

●華麗なるマイセン磁器～シノブズリー、ロココからアール・ヌーヴォーまで～12/19(日)～2/6(日) 西洋磁器を代表するドイツのマイセン磁器を、18世紀から20世紀初めまでの食器、彫像、室内装飾オブジェ、装飾鏡、シャンデリア、家具など200点で紹介する
●コレクション企画Ⅳ「隅っこ」12/19(日)～3/27(日)

◇年末年始の休館日 12/27～1/1

文化情報 県立博物館

●テーマ展「石に刻まれた祈り-板碑を通して-」1/30(日)まで
●余暇の博物館学ゼミナール・博物館あたらなる発見への道(全4回) 博物館の舞台裏を講座を通して紹介
●1/14(金)「21世紀のあたらなる博物館創り」②1/28(金)「お宝はこんな方法で守っています」要予約

◇年末年始の休館日 12/27～1/3

文化情報 県総合文化センター

●ワルシャワ室内合奏団 12/17(金)午後6時30分開演「モーツァルト・オペラの傑作アリアとクリスマスの名曲をお楽しみに!」当日券有り
●読売日本交響楽団特別演奏会 1/11(火)午後7時開演 指揮/エーリッヒ・ビンダー ピアノ/須藤梨菜 好評発売中

◇年末年始の休館日 12/29～1/3

栃木県のお知らせ

身体障害者用駐車場 身体障害者用トイレ

募集

とちぎ緑づくり推進懇談会委員の募集

●県が新たに策定する緑化基本計画に、県民の皆さんの声を反映させるため、懇談会の委員を募集します。私たちの大切なみどりを次の世代に引き継ぐためのご意見をお聞かせください
●募集人員 2名以内 ●応募資格 県内在住で満20歳以上～70歳未満の方 ●応募方法 作文「緑化の推進について」と住所・氏名・生年月日・性別・職業・電話番号を記載したものを郵送・FAXなどで ●応募締切 1月21日(金) ●あて先・問合せ 〒320-8501 県造林課 ☎028-623-3297 FAX 028-623-3299

マロニエメイツになりませんか

●みどりづくりや県のPR活動などに参加協力いただけるフレッシュなスタッフを募集します ●応募資格 県内在住で18歳以上の方(高校生は除く) ●募集定員 3名 ●応募方法 履歴書及び顔写真(3月以内に撮影したもの)を郵送で ●応募締切 1月31日(月) ●栃木県緑化推進委員会(宇都宮市栄町5-7) ☎028-643-6801

動物愛護ふれあい写真コンクール作品募集

●身近な動物たちと人のふれあいや心あたたまる光景などを写した作品(サービス判～キャビネ判)をお寄せください ●応募資格 県内在住の方 ●応募方法 作品と住所・氏名・年齢・性別・電話番号・動物の名前・作品の題名やコメント等を記載したものを郵送または持参で ●応募は1人1点のみ ●募集期間 1月7日(金)～21日(金) ●県動物愛護指導センター(宇都宮市今宮4-7-8) ☎028-684-5458

試験

薬種商認定試験・薬種商承継者試験

●試験日 2月8日(火) ●会場 ニューみくら(宇都宮市) ●受験資格 ①薬種商販売許可申請をした方 ②現在の店舗を承継して薬種商販売業を行おうとする方 ●受付期間 ①1月13日(木)までに申請した方 ②1月11日(火)～13日(木) ●受験無料 ●県業務課 ☎028-623-3120

クリーニング師試験

●試験日 2月22日(火) ●会場 栃木県獣医師会館(宇都宮市) ●受験資格 中学校卒業または同等以上の学力があると認められる方 ●受験料 7,000円 ●願書受付 1月12日(水)～14日(金) ●県生活衛生課 ☎028-623-3110

催し・講座

地球温暖化防止啓発演劇「ちきゅうがおねつだ!」

●地球温暖化防止を呼びかけるお子さん向けの演劇をらくりん座が上演 ①1月22日②1月29日③2月12日 ※いずれも土曜・午後2時30分開演 ●会場 ①黒磯市文化会館 ②足利市総合会館 ③真岡市民会館 ●対象 保育園・幼稚園年中児以上、小学生(保護者同伴) ●鑑賞無料 ●申込締切 12月28日(火) ●県環境政策課 ☎028-623-3187

初心者のための陶芸講座(全3回)

●これから陶芸をはじめたい方の入門講座 ①1月22日(土)～23日(日) 1泊2日 ②1月29日(土) ③2月13日(日) ●会場 芳賀青年の家 ●受講料 7,500円 ●定員 30名 ●申込締切 1月12日(水) ●芳賀青年の家 ☎0285-72-2273

パルティの講座

●とちぎ男女共同参画センター ☎028-665-7706 ●各講座とも定員20名、託児あり(要予約)
●男の生活工房(料理講座・全3回) 1月16日(日)・23日(日)・29日(土) 午前10時～午後2時 ●簡単おつまみや本格和食などをつくります ●対象 男性 ●受講料 1,000円(材料費別途) ●申込締切 1月6日(木)

プレゼンテーション術講座(全4回)

●1月29日、2月5日・19日・26日 ※いずれも土曜・午前10時～午後3時 ●パソコンを使った効果的なプレゼンテーションを学びます ●対象 18歳以上の女性でワードの操作ができる方 ●受講料 3,000円(教材費別途) ●申込締切 1月13日(木)

高齢者の就業のための講習会

●警備業務技能講習 1月20日(木)～28日(金)・小山市 ●申込締切 1月11日(火) ●対象 60歳代前半の求職者 ●受講無料 ※テキスト代は受講者負担 ●定員 20名 ●栃木県シルバー人材センター連合会 ☎028-627-1179

案内

恩給欠格者、引揚者の皆様へ

●平和祈念事業特別基金では、次の方に内閣総理大臣名の書状等を贈呈しています ●旧軍人軍属で恩給などを受けていない、いわゆる恩給欠格者の方(請求を行うことなく亡くなられた恩給欠格者のご遺族の方) ●終戦に伴い、本邦以外の地域から引き上げてこられた方 ●詳しくは、平和祈念事業特別基金(☎0120-234-933)へお問い合わせください

ご利用ください! e-Tax

●国税の申告や納税が自宅や事務所に居ながらにしてインターネットで行うことができる便利なシステムです ●e-Taxのホームページからご利用できますので、ぜひアクセスしてみてください(http://www.e-tax.nta.go.jp/) ●宇都宮税務署 ☎028-621-2151

とちぎの旬の情報をお届けします! ●とちぎの旬の情報をお届けするメールマガジンを発行しています ●県政あれこれ、物産品、観光、イベント情報などさまざまな角度からとちぎの魅力を発信中! ●テキストメールだけでなく、カラフルなHTMLメールもご用意しています ●お申し込みは県ホームページからどうぞ ●県広報課 ☎028-623-2164

7 information とちぎテレビ 県の広報番組

特別番組「新春知事対談」

●放映日時 1月1日(土)12:00～12:30 (再) 2日(日) 9:00～9:30
●知事が新春によせて「これからのとちぎづくり」や「とちぎの魅力」を語ります

クローズアップとちぎ

●毎週日曜 9:00～9:30 (再)月曜22:00～22:30
12月19日 公共交通機関の利用促進
26日 みんなで考えよう! 食の安全と安心
1月9日 とちぎブランドの推進

なるほど!とちぎ

●毎週土曜 9:00～9:30 (再)日曜20:00～20:30
12月18日 謎の石 正体を探れ!
25日 とちぎ発アジア行～農産物・食品の輸出～
1月8日 心のルネッサンス運動の推進
15日 子どもの居場所づくり

とちぎ教育新事情

●毎週土曜17:30～17:50 (再)月曜12:05～12:25
12月18日 育てよう、子どもたちの笑顔～人権教育の取組～
1月8日 栃木県中学校総合文化発表会～みんなであつなげる文化の輪もっと広がる僕らの未来～
15日 とちぎの民俗芸能②～都賀町・木の杖術編～

トピックス 県政

とちぎ産業フェアでビジネスチャンス



このフェアは県内最大の総合産業見本市で、県内の76企業 団体が出展しています

栃木県の新技术や新製品、デザイン・ソフトウェアなどを展示紹介する「とちぎ産業フェア2004」が、11月18日から20日までマロニエプラザで行われました。今年度から新たに、大企業と中小企業の出会いの場「ビジネスコミュニケーション創出支援ゾーン」が設けられ、多くの商談が行われました。

献血PRマスコットキャラクターが決まりました



最優秀賞に選ばれたのは那須清峰高校3年 萩原由依さんの作品「ちいちゃん」です

若い方に献血への関心を高めていただくため、県内の高校生を対象に「献血PRマスコットキャラクター」を募集しました。応募総数223点の中から最優秀賞に選ばれた作品は、今後、献血マスコットとしてバス広告などで使われます。

